



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

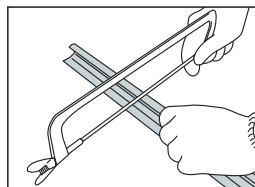
●施工手順

1. 階段蹴上げ部の清掃

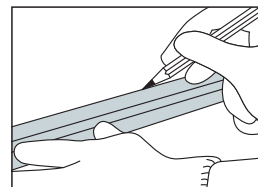
「ステップドレーン」を設置する階段蹴上げ部の砂・塵埃を出来るだけ拭き取ってください。

2. 裁断とけがき

- ご使用の階段幅(タキステップ幅)に合わせて「ステップドレーン」をカットしてください。
カット幅の目安は、階段側溝へ雨水を誘導できるように調整してください。
- 「ステップドレーン」を蹴上げ最下部に置き、鉛筆などでプライマー塗布領域をけがいてください。



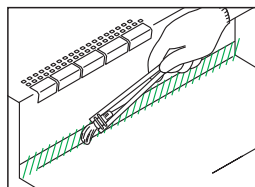
【裁断】



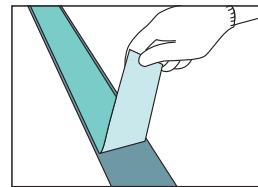
【けがき】

3. 下地用プライマー液(タキボンド#625 別売)の塗布・特殊両面粘着テープの離型紙の剥がし

- けがき線より下の領域に、タキボンド#625をハケで均一に塗布して20~30分間乾燥させてください。(斜線部)
- 「ステップドレーン」裏面の特殊両面粘着テープの離型紙を剥がしてください。
- タキボンド#625標準使用量：100本/400g缶



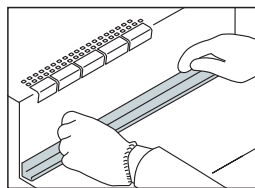
【プライマー塗布】



【離型紙はがし】

4. ステップドレーンの貼り付け

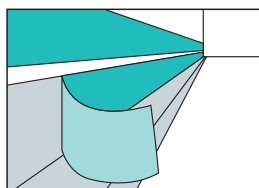
- 「ステップドレーン」をタキステップ蹴上げ部の最下部へ貼り付けてください。



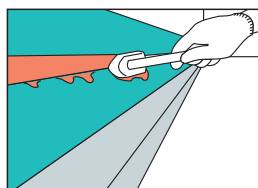
【貼り付け】

5. 端部処理(タキシール#600 別売)仕上げ

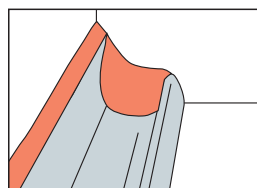
- 「ステップドレーン」の上部をマスキングテープにて養生してください。
- マスキングテープに沿って専用の端部処理材(タキシール#600)を打設してください。
- タキシール#600の幅が5mm以上になるようにヘラなどで平滑処理をしてください。
- 側溝側(排水側)へ排水するように、壁側を端部処理材で塞いでください。
- 端部処理材(タキシール#600)標準使用量：15本/320ml・本 ただし、壊き止め部の打設量により変動があります。



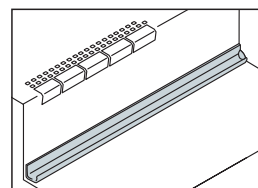
【マスキング養生】



【ヘラ仕上げ】



【壁側壊き止め状態】



【施工完了】



警告

・階段の最下段以外に設置をしないでください。最下段以外では階段昇降時につまづき転倒の危険があります。
・何らかの外力により、破損や剥離をした場合は速やかに撤去をしてください。



注意

・施工時に一度貼った製品を再施工するとテープの粘着強度が落ちますので、再施工はしないでください。
・気温が低いと粘着力が低下しますので、5℃以上で施工してください。
・下地に凹凸があると、ステップドレーンに浮きが発生し、外れる可能性があります。
・ステップドレーンにゴミ・砂がたまると排水量が低下しますので、定期的に除去してください。
・貼り付け後、浮きの無いことを確認してご使用ください。
・施工後、ステップドレーン上部は必ずタキシール#600にて端部処理を施してください。
・タキステップ専用ですので他用途へのご使用は避けてください。

試験データ
P.219

法規関連
P.242

工法・下地
P.254

施工手順
P.273

接着剤・
副資材
P.336

副資材
品番一覧
P.351

メンテナンス
注意
P.356